

授業科目名	疾 病 と 治 療 Ⅲ			担当教員	泊 真二、継 仁、北山 次郎、 竹下 弘道、大石 誠一郎、 申神 正子、吉永 宗義	
開講年次	2 年前期	セメスター	3		時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習		使用教室	
授業の目的	加齢に伴う変化に関わる疾病とその治療について学習する。					
到達目標	各器官の疾患の病態生理を理解し、治療・看護と関係づけることができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「健康」に位置付けられている。人体の構造と機能の知識修得後に開講され、看護展開に必要な【自己教育力】と【問題解決力】を十分に養いながら看護の基盤となっていく科目である。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		◎		○		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	運動系疾病について理解する： ①運動器疾患概論，運動器の症候・観察・検査，治療，リハビリテーション	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	泊
2	運動系疾病について理解する： ②骨折・脱臼，変形性関節症	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	泊
3	運動系疾病について理解する： ③脊椎・脊髄疾患，加齢性疾患，悪性疾患	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	泊
4	脳神経系疾病について理解する： ①脳・神経疾患概論，中枢神経・末梢神経	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	継
5	脳神経系疾病について理解する： ②脳神経疾患の主要症候，観察，検査，脳・神経疾患の治療（侵襲的治療）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	継
6	脳神経疾病について理解する： ③脳卒中，脳腫瘍，頭部外傷	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	継
7	脳神経系疾病について理解する： ④神経変性疾患，脱髄性疾患，機能性疾患（癲癇）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	北山
8	脳神経系疾病について理解する： ⑤認知症，感染性疾患，筋疾患，末梢神経障害	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		1 時間	北山

9	皮膚科系疾患について理解する：皮膚の主要症候，検査，治療，主要疾患（湿疹・皮膚炎・感染症・悪性腫瘍）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	竹下
10	女性生殖器系疾病について理解する： ①女性生殖器の診察・検査，侵襲的治療，内分泌異常，女性ライフサイクルの変化（思春期，更年期）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	申神
11	女性生殖器系疾病について理解する： ②性感染症，子宮疾患，卵巣疾患，乳房疾患，不妊症	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	申神
12	眼科系疾病について理解する： ①視機能（視力・順応・視野・色覚），眼の検査・治療，結膜疾患	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	大石
13	眼科系疾病について理解する： ②網膜・硝子体疾患，水晶体疾患，緑内障	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	大石
14	耳鼻咽喉系疾病について理解する： ①耳鼻咽喉の主要症候（耳／難聴・聴覚障害・めまい，鼻／鼻出血・嗅覚障害，咽頭・喉頭／構音障害・嚥下障害），耳鼻咽喉の検査	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	吉永
15	耳鼻咽喉系疾病について理解する： ②耳鼻咽喉主要疾患（炎症性疾患・悪性腫瘍）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	1 時間	吉永
先行履修科目					
テキスト	織田弘美 他：系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学〔10〕運動器，医学書院，2019. 井手隆文 他：系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学〔7〕脳・神経，医学書院，2019. 大鹿哲郎 他：系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学〔13〕眼，医学書院，2017. 小松浩子 他：系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉，医学書院，2017. 佐藤博子 他：系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学〔12〕皮膚，医学書院，2016. 池田正 他：系統看護学講座 専門分野 2 成人看護学〔9〕女性生殖器，医学書院，2019.				
参考文献	Anthony, S.F. et al.：Harrison's principles of internal medicine (18 th). 2012, 福井次矢 監訳：ハリソン内科学（1，2），メディカル・サイエンス・インターナショナル，2013,				
評価方法	定期試験（100％） ※配点の内訳は、コマ数によって配分します。				
教員等の実務経験	各領域で専門的に活躍している臨床の医師が、その現場の経験を活かし看護活動に必要な知識について講義します。				
メッセージ	★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。				